



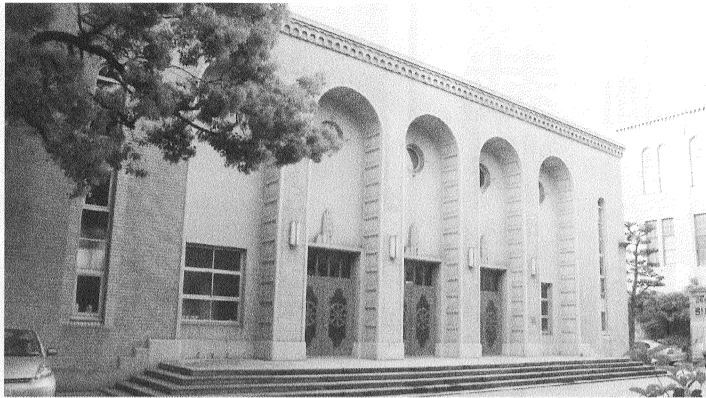
# 特集!! どうなってるの? キャンパス改修工事

現在、神戸大の各キャンパスで建物の改修工事が行われている。新しいキャンパスは気持ちよいが、古くても味のあるキャンパスが好き、という人もいるのではないだろうか。今回の特集では、それぞれの改修工事について、興味深いもの、学生に影響を与えるものについて調査した。

## 神戸大のシンボルも改修

### 六甲台講堂

経済・経営・法学部のキャンパスには、レトロで洋風の建物が並んでいる。中でも社会科学系図書館など数棟は登録有形文化財に指定されており、風格ある姿を現在にまで残している。しかし、どれも立派



老朽化により改修工事が予定されている六甲台講堂(登録有形文化財)。(5月8日・経済・経営・法学部キャンパスで撮影=浅井淳平)

な建物であっても、長い年月を経ることで老朽化するものは避けられない。今年度は登録有形文化財に指定されている六甲台講堂の改修工事が行われる予定だ。六甲台講堂は昭和10年に建設され、平成15年に当時の文化庁より登録有形文化財に指定された。建設されてから約70年間、学校行事や講演会、課外活動の公演などで利用されてきた。毎年11月上旬に行われる神戸大の学園祭「六甲祭」においても講堂はステージの一つとして利用されるため、多くの学生にとってなじみのある建物となっている。今回の改修工事では、タイルがはがれている箇所などについては補修を行い、外観は現在のイメージを残したままにしたいという。工事期間は9月末までを予定。今年度の後期日程が始まるころには、新たに生まれ変わった六甲台講堂を見ることができそうだ。

備え、講堂としてさらに利用しやすくなるという。伝統と最新設備を兼ね備えた「新たな」建物の誕生は、もっ目の前に迫っている。

### 課外活動等に 影響も

講堂の改修工事によって、学生、団体に影響が出ている。その中の一つは演劇の部活・サークル。今まで公演に講堂を利用してきたが、先日の新歓公演の際は改修工事のために講堂を使用することができなくなった。代わりに、国際文化化学部のキャンパスにあるD303教室(アター300)で公演ができるよう、学校側は事前に文化総務と打ち合わせ、舞台設置には改修工事の費用の一部をかけたという。

## バリアフリーも考慮 国際文化学部

国際文化化学部のキャンパスには、共通教育科目などの関係で、他キャンパスに比べ多くの学生が訪れる。特にB棟1階にある学生センターの前は、手続室や弁当購入のために通る学生が多く、時間帯によっては非常に混みあう。今回の改修工事で、以前は屋根のある部分となっていた段差があった箇所を平らにし、学生で混みあう中



段差が解消され、歩きやすくなった国文B棟前。(4月28日・国文キャンパスで撮影=義原由樹子)

## 巨大絵画現る!

### 発達科学部

発達科学部のキャンパスでは、平成21年5月の時点でA棟、B棟の耐震工事が完了した。改修された建物内は、壁と床は白、ピンク色を取り入れるなどして明るく新鮮な雰囲気になった。さらにB棟東側の壁には縦約9メートル、横15メートル以上の巨大なタイルモザイク壁画が描かれた。作品を製作したのは発達科学部人間表現学科の岸本吉弘准教授。

改修以前、B棟東側は無機質な壁に、時計が付いているだけだった。岸本准教授は「大きな壁に何か『アート』はできないか、という話を持ち、着想し始めた」と話す。着想を始めたのは昨年の10月からで、何種類ものスケッチを重ねた。実際に作品を製作する際、使われたタイルは30種

色、数は5万枚。タイル一枚一枚の貼付位置はコンピュータで操作、指示した。「気の遠くなるような作業を続け、作品は約半年で完成した。製作されたタイルモザイク画の題名は「ROBIN (FOR DOER)」。「ROBIN」とはヨーロッパのコマドリを表す。コマドリには古くから献身的、利他的な伝承が数多くあり、その恩恵によって自らを美しく彩っているという。また、作品の

茶色は大地、青色は天を象徴し、重層的な構図は知の蓄積を示唆する。「ROBIN」の如き若き美談者、この作品を送りたい。ここで生まれ出る英知が実践として永遠に拡がらんことを切に願っています」と准教授は作品に思いを込めた。なお、現在発達科学部A棟6階で、作品のアイデアスケッチなどを紹介した展示会を開催している。開催日時は平日午前11時〜午後6時、6月末まで。

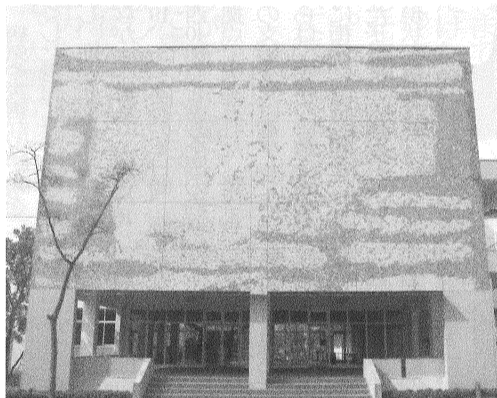
国文キャンパスの食堂前(自動販売機側)に面白いスペースが設置された。去年までは何も無いコンクリートのスペースだったのだが、改修後は板が敷かれ、直接座ってお弁当を食べたり、喋ったりするところができるスペースに。ゴミ箱も設置してあるため、食堂でテイクアウトを利用したり、購買で食べ物を買ったりする人にとっても利用しやすくなっている。

## ピクニック気分で

### お弁当が食べられる!?



すでに天気の良い昼休みには、お弁当を片手に友達同士で座り、食べながら歓談している学生が多く見られる。また昼休み以外にスペースを利用してはいる学生の数もはばからず、これからの気温も暖かくなる外でも過ごしやすくなるため、授業の合間の歓談の場として利用する学生が増えつつある。座の心地もよい。日当たりもよい。屋根が付いていないので雨の日には利用できないのが



巨大なパネルモザイク画「ROBIN (FOR DOER)」。(提供=岸本吉弘准教授)

# ★ 大学生生活、退屈してませんか? ★

# ★ このスペースを埋めるのは君だ! ★

神戸大学ニュースネット  
**NEWS NET**  
©神戸大学ニュースネット委員会 <http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html>  
関西学生報道機関共同編集室 〒532-0011大阪府淀川区中島3-21-9-502  
電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 x-newsnet@kobe-u.com



←今すぐみれるケータイ版HPはこちら

# 宿敵・武庫川女大に逆転勝利 5年ぶりの優勝

## 春季関西学生女子タッチフット トーナメント決勝

春季関西学生女子タッチフットボールトーナメントの優勝決定戦、神戸大R.O.K.Sー武庫川女大がNTLe Breezeが5月9日に王子スタジアムで行われた。第4Qで3本のTDを奪った神戸大は、31ー20で武庫川女大に勝利し、5年ぶりの優勝を決めた。

第3Qまでに両チームとも2本のTDを決め、お互いに一歩も譲らない試合展開となった。神戸大は13で迎えた第4Q序盤にG西古(発達・4年)がTDを奪つと、続くディ



第2QにTDランを決め、ガッツポーズをするQB佐野。 (5月9日・王子スタジアムで 撮影=松本尚也)

フェンスでは相手のパスをDB田中(発達・2年)がインターセプト。一気にゴールラインまで残り4ヤードとし、QB佐野(発達・4年)のTDランで追加点を入れた。

さらに第4Q終盤にはDB福田(農・3年)も相手のパスをインターセプト。このディフェンスの流れに乗り、オフフェンスでもQB佐野からWR野村(発達・3年)へ約35ヤードのTDパスが成功。この時点で31ー13と第3Qまでの1点を争う攻防から一気に試合を動かした。最後に武庫川女大にTDを許したものの31ー20で勝利し5年ぶりの優勝を果たした。

試合には勝利したが、WR野村は「自分たちの理想のプレーができなかった」と振り返る。「オフフェンスでもっとみんながキーププレイヤーとして活躍できるように」と今後の課題を話した。

今岡コーチも「練習でやってこなかったことは出なかったと満足していない様子だった。

神戸大が武庫川女大に勝利したのは約2年ぶり。QB佐野は「QBになって武庫川と対戦するのは3年目。苦意識があった」と胸の内を明かした。この日の勝利でリベンジを果たし、今シーズンへの希望をつげられたという。ブレッシングがかかるパスキャッチが駄目になる。次の試合までに克服したい」と次の試合へ向け気持ちを新たにした。

【有田朋史】

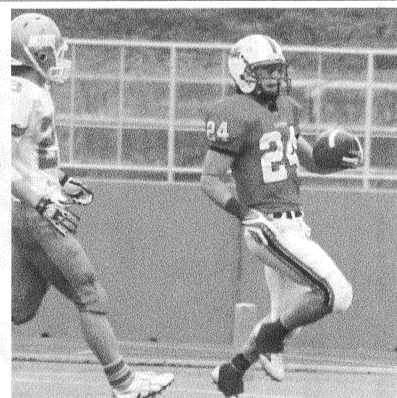
## 実力の差見せつけ勝利

### アメフット

#### 横国大定期戦

ランTDで先制した神戸大。後半は3点差に迫られるが、QB東野(工・3年)からWR大園(発達・4年)へのTDパスなどで点差を広げ26ー10で勝利した。定期戦通算成績20勝9敗1分。

6ー0とリードして迎えた第2Q、自陣38ヤードからの攻撃。エースWR大園がフィールドを疾走した。QB東野から投げられたパスをフリーでWR大園がキャッチ。そのまま相手選手を置き去りにし、ゴールラインまでの約30ヤードを駆け抜けた。昨年、3年



第2Q、62ヤードTDパスを決めるWR大園。 (5月5日・王子スタジアムで 撮影=伊崎春樹)

連統のリーディングレシーバーに輝いたWR大園。4月にはさらなるレアルアップを目指し、1週間ほどアメリカの大学へ視察に行っていた。62ヤードTDパスが決まり12ー0とする。

しかし、第3Qは横国大ペース。3点差に迫られる展開。QB東野も今日の課題は後半、相手に対応してきて落ちてくず、判断が遅かった」と話す。

【松本尚也】

## 大法経大に敗れる

### バスケット選手権

関西学生バスケットボール選手権2回戦、神戸大ー大法経大が4月19日、龍谷大深草キャンパスの体育館で行われた。神戸大はほとんどの時間帯、リードを許す展開の末に91ー69で敗北。シード校として2回戦から臨んだが、初戦で敗退する結果となった。

立山コーチは「チームの軸が決まらないまま大会に臨んでしまった」と敗因を話す。何とか食いついていった前半、残り30秒で2点差とし反撃ムードで後半に

大法経大は、その後は軽快なテンポで大市大打撃を打ち取っていた。終わってみれば完投。「低めに球を集める」自分のピッチングができればいいと思っていた。のびのび投げられたので疲れはなかったと安堵

優勝候補と言われ前評判の高かった今季。しかし、ふたを開けてみれば大法大、阪南大に全敗し、結果は3位。「チームとして不本意」と中村監督。

それでも、大市大との最終戦では気迫のこもったプレーを披露し連勝を飾った。

秋には他チームも春以上に力をつけてくる。敵い戦いになるのは間違いない。神戸大で唯一ベストナインに選ばれた上田は「目標は1戦必勝」と先を見据えていた。

【浅井淳平】

## みんなの癒し 馬術部の意外な仲間

馬術場に足を踏み入ると、小さな草で暑さをしのいでいる犬がいた。「ハナ」だ。

阪神・淡路大震災で迷い込んで来たのを馬術部が引き取る事になり、それ以来馬術場に住みつくようになった。今では近所の人にかわいがられ、すっかり看板犬に。部員にもなつていて、練習後部員らが阪急大甲駅に下りるとき、ついてくることもある。

また、番犬として部員を守ることも。特にイノシシ。部員らが怖がっているとハナが追いかけてくれるそう。副将の益井博史さん(理・3年)は「ハナは頼りになる存在。一緒にいる猫のゴメスとじゃれているのを見ると癒される」と話す。部員らにとっては、馬だけでなくハナやゴメスも大切な仲間だ。

【浅井淳平】



草場で涼むハナ。(5月11日・馬術場で 撮影=田辺翔吾)

## 男子4×100リレーで2連覇 陸上・関西インカレ前半戦

第86回関西学生陸上競技対抗選手権大会(関西インカレ)のトラック・フィールドのトラック・フィールドで行われた。男子4×100メートルリレーで連覇を達成する



連覇を達成した4×100メートルリレーのメンバー(左から内賀嶋・杉本・吉岡・三木)。(5月9日・西京極総合公園陸上競技場で 撮影=伊崎春樹)

な3種目で優勝。総合で62点を獲得し、3日目を終えて2位につけた(5月14日現在)。

8日は男子800メートル決勝に小池(経済・4年)が出場。「少しでも上の順位を」と積極的に攻め、1分58秒12で5位に入賞した。女子4×100メートルリレーでは神戸大歴代2位となる49秒98をマークした。

男女合わせて20の決勝種目が行われた9日は、男子400メートルで西本(発達・3年)が48秒24で優勝したほか、4×100メートルリレー、十種競技で2連覇を達成した。三段跳では大野(法・5年)が15メートル15で2位。100メートルは主将の三木(発達・4年)が10秒87で4位だった。

男子1万メートル競歩は、発達2年の石飛が45分

## 主な成績 (優勝分のみ)

男子400メートル	西本翼	48秒24
4×100メートルリレー	内賀嶋・杉本・吉岡・三木	41秒43
十種競技	西田勇	6245点
総合得点	2位 神戸大	62点

「4連覇(4×100メートルリレー)の優勝はただの優勝じゃない」とアンカーの三木は話した。「勝負できる位置で(バトンを)渡

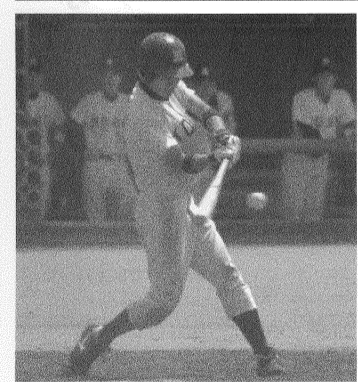
【伊崎春樹】

## 大市大に勝利し、3位 近畿学生野球リーグ

近畿学生野球春季リーグ第4節2回戦、神戸大ー大市大が4月29日に南港中央野球場で行われた。神戸大は先発大岡(発達・2年)が完投し、3ー1で最終戦を勝利で飾った。これで最終成績を4勝4敗勝ち点2とし、3位で春季の全日程を終えた。小さい点差で守り勝つ。

この日は大岡が公式戦初先発。緊張のため硬さの見えた初回。いきなり先制を許す。

しかし、制球難に苦しむ2年生を救ったのは頼れる先輩だった。4回に金川(発達・4年)の犠牲フラ



大市大との最終戦で勝ち越しとなる適時打を放つ上田。(4月29日・南港中央野球場で 撮影=浅井淳平)

秋には他チームも春以上に力をつけてくる。敵い戦いになるのは間違いない。神戸大で唯一ベストナインに選ばれた上田は「目標は1戦必勝」と先を見据えていた。

【浅井淳平】